

木造軸組工法  
**検査チェックシート**

丹澤邸 新築工事		
建築主 丹澤 幸博 様	建設地 笛吹市八代町増利字 屋敷ノ内1911番1	

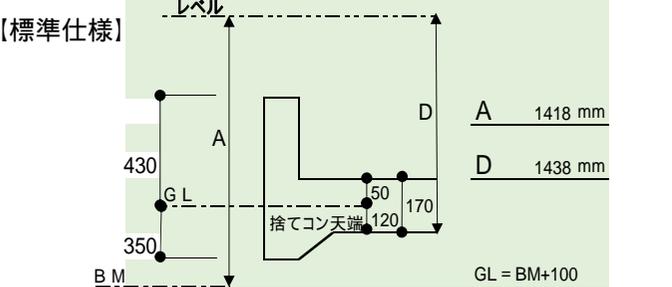
モジュール: 尺 / m

区分	基礎 検査	
	初回検査	再検査
検査年月日	2019年7月23日	年 月 日
監理者	飯沼 直己	

**基礎 <現場打ち基礎>**

適用	チェック内容	確認	メモ
記録確認	地業種別(砕石)、厚(150)、転圧	レ	写真-1
	地盤改良(有・無) 施工記録(柱状、) 杭頭レベル確認	レ	
	防湿シートの敷込み 重ね幅(150mm) 厚(0.1mm以上)	レ	写真-1
	浄化槽保護壁の配筋 長さ( ) 深さ( ) 径、間隔	レ	写真-1
	先行深基礎の仕様(配筋・深さ・長さ・コンクリート呼び強度・存置期間)	レ	
仮設工事	工事看板(確認表示板)の設置	レ	
	安全対策(仮囲い・ゲート・境界ネット)		
	仮設計画の作成(監督が提示)		
	工事看板(確認表示板)の記入内容		
	仮設トイレ・仮設電気の引込み		
建物配置	仮設水道 又は 給水タンクの設置		
	境界杭		
	敷地の外周寸法		
	地盤高さ [G.L.] B.M. (+100 )	レ	
	建物配置 [境界からの離れ寸法 3点、残寸法、残寸法( )]	レ	
基礎配筋仮枠	建物寸法 [間仕切り位置、累計寸法]	レ	
	対角長の計測 (計算値との差を算定)	レ	
	捨てコンクリートの水平精度、厚み( )	レ	
	基礎の断面形状	レ	
	ベース筋の径(D10 ) 間隔 (@250他 ) 継ぎ手長さ( 40 d)	レ	
	ベース型枠の通り	レ	
	スリーブロックH=70の配置 (D13 @200の場合@1000)	レ	
	立上り筋の高さ、かぶり厚、垂直精度	レ	
	立上り筋の主筋の径(D13 ) 縦筋の径(D10 ) 間隔(250)	レ	
	立上り筋の継手部 (継ぎ手筋) 出角部 (コーナー筋)	レ	
	立上り筋の隅角部の角補強筋 (縦筋)	レ	
	連絡口(人通口)の位置 [ 全室の床下に廻れるか ]	レ	
	連絡口(人通口)の開口補強筋 [ 斜め、横、両端 ]	レ	
	玄関 及び 勝手口ドア開口巾	レ	
	排水管、スリーブ廻りの補強		写真提出
剥離剤の鉄筋への付着 (有・無)	レ		
鉄筋の結束及び結束線のヒゲ処理	レ		
ホールダウン金物の位置は良いか(長物アンカーの場合)			
設備配管	給排水管のコンクリート埋設部配管は適切に施工されているか		写真提出
	スリーブの入れ方、固定方法		同上
	補強筋とのかぶり厚は確保されているか		同上
	残材の片付け、ゴミの処分		同上
現場管理	写真・書類の提出 後日地盤改良報告書提出		
	基礎内の雨水溜まり(有・無)、清掃状況	レ	

適用	チェック内容	確認	メモ
	現場の整理整頓	レ	
	残材の片付け、ゴミの処分	レ	
	道路、側溝の清掃	レ	



指示事項及び是正状況確認		
1	合格	立上り筋の隅角補強筋(縦筋)がD10になっている その場でD13に修正
2	合格	人通口両サイド縦筋の間隔が狭い部分がある その場で修正
3		給排水スリーブが未施工だったため、写真提出すること 施工にあたり注意事項を説明
4		地盤改良報告書を提出すること (7月30日確認済)
	合格	耐圧路盤レベル
		耐圧版路盤高さは1ヶ所(玄関付近)を除いて厚くなる方向に0~17mm 玄関付近のみ10mm路盤が高かったが、この部分の配筋が 当初設計D10@200より細かく配筋(D10@125)していることによる構造再検討 を行い問題なし
	合格	全長長さ 3方向は誤差0mm Y1通りの全長のみ誤差 +5mm 基準値10mm
	合格	対角長さ A-B方向 15,060(+2mm) 基準値 計算値15,058±10mm C-D方向 15,065(+7mm) 基準値 計算値15,058±10mm